

Kotori-no series : 5

ト
リ
の
エ
ク
エ

LoveLive! fanbook
presented by No6.base



for Adult Only

前回の「コトリの○○○」

コトリのシリーズ：1
「コトリのクスリ」



南ことりの母が音ノ木坂学院の近くに仕事部屋として借りていたマンションの一室では、艶やかな声が響き渡っていた。ことりの母は、ある男とのセックスを、ただただ楽しんでいた。当初、学校経営を立て直すという目的はあった。今では、娘や娘の友人たちのおかげで、事なきを得ていたはずなのだ。しかし、この男のモノが忘れられず、女としての悦びをもつと感じていたい気持ちを捨てられずにいた。

一方、南ことりも、そのマンションを衣装保管兼作業部屋として利用していた。近頃、母から急に部屋を使わないで、と念押しされるようになつたのだが、利便性から、母に内緒で度々訪れていた。

その日も学校帰りに訪れたことは、母の今まで聞いたことのないような声を耳にする。母の呼びかけに反して、恐る恐るその部屋に入ると、そこには知らない男と淫らなことをしている母の姿があった……。あまりの事態に、ことりはその場から逃げ出してしまつ。

次の日、突然ことりの元に、あの男からの電話が鳴る。

初めて母が学校のために身売りをしていたことを知り、動搖することに男は無慈悲にも言葉を続ける。

「今この事が世に出たらキミたちやお母さんの努力は全て台無しだ」

ことりは、脅されるままに男のもとに訪れる。そして男は、ことりの優しさを利用し、体を貪り、ことりを快楽の虜にしてしまうのであった。

あの男との関係は続いていた。

ことりは、男のモノを受け入れ、よがり悦ぶ日々を過ごすうち、淡い恋心を抱き始める……。そんな気持ちとは裏腹に、ことりは男のことを何も知らない寂しさを抱えていた。

そんな中、UTXでのARISEとのラブライブ予選を終えた後、事は起こつた。待合室で、あの男がことりの目の前に現れたのだ。ことは、そこで初めて男がラブライブの運営事務の人物である事を知る。

不安を抱えたまま男の指示に従い、ライブ発表したステージに向かうと、そこにはなんと男達と淫らに関係しているARISEの姿があった。ARISEは身売りをして人気を勝ち取つていたのだ。

男は、ことりに芽生え始めた想いを踏みにじるようにして、ことりを躊躇しこ逡んでいく。

つまらない恋心を言い訳にするんじゃなく、本能にしたがいなよ、と。

ただ快楽を欲するがためだけに、男達を受け入れ続けること。誰のモノでもいい、ただ気持ちよくなりたい。スクールアイドルを続けられないかもしれない。でも構わない。アレが欲しい。

事が全て終わり、静寂の中…… 待合室での一件に不安を覚えた園田海未は、ステージ上のことりのあられもない姿を目撃してしまう……。

コトリのシリーズ：2
「コトリのトビラ」



■ 男

ラブライブの運営をしている。自身の権力を笠に、スクールアイドル達と関係を持っています。



■ 園田海未

ことりの異変に早くから気付いていた。ことりのあられもない姿を目撃してしま



■ ことりママ

学校経営を立て直すため身売りをしていました。ことりに行行為中の現場を目撲される



■ 南ことり

母の身売りのことで脅され、快楽の虜になってしまう。

コトリのシリーズ：3
「コトリのホウシ」



ことりの大変な事態を知ってしまった海未は、大会の近いメンバーに頼ることも出来ず、するような思いでことりの母である理事長に相談を持ちかけていた。あまりの事実に、ことりの母は驚きを隠せなかつたが、すぐに自身の過ちが原因であることを察し、悔やみ、娘を助ける決意を固めたのであつた。

そんな中、ことりが、あの男により連れてこられた部屋には、メイド喫茶で勤めていた頃のファンが大勢集まつていた。

男がバー・ティーの始まりの挨拶をすると同時に、今まで暖かい目をしていたファンの男達の目は刹那、ケモノのそれに変わり、ことりへ己の性欲を曝け出すのであつた。

あろうことが、ことりも、皆に迷惑をかけてしまつてゐる負い目から、目の前の人だけでも幸せになつてくれている喜びで、進んで奉仕を始めてしまう。皆を笑顔にするのが、ことりの勤め。アイドルとしての勤めなのだ、と。

取り繕つた言い訳で、今の自分を肯定したことりの奉仕活動は止まらなかつた。

数々のファンという名の男達の精液を受け入れ、お尻の穴も許し、ことりは順調にセックスの虜に開発されてしまふのであつた。

ちょうどその頃、ことりの母は、あの男がいるというJ-TEXまで来ていた。久しぶりに会う男に対して、娘のことを強く問いただすも、はぐらかされるままに案内された一室では、母親が知るはずもないであろう娘の姿が大画面に映されていた。

そして、男はニヤついた顔で言うのであつた。「人気を博したスクールアイドルがAVデビュー…これは売れますよ」と。

ことりは僕今の衣装に衣装チエンジしをし、母はそれ僕の衣装に身を包ませられ、表には出るはずのないラブライブのステージが、今始まろうとしていた…。

コトリのシリーズ：4
「コトリのオカゲ」



娘を助けにきたことりの母であつたが、男は更なる条件として、男はことり母に薬を打ちこむ。娘を助けようとする強く真っ直ぐな信念にも無常に、薬は母を触り、快楽に墮としてしまふのであつた。

一方ことりは、ファンの男達に、誠心誠意奉仕していた…。代わる代わる繰り返し行われる行為…。

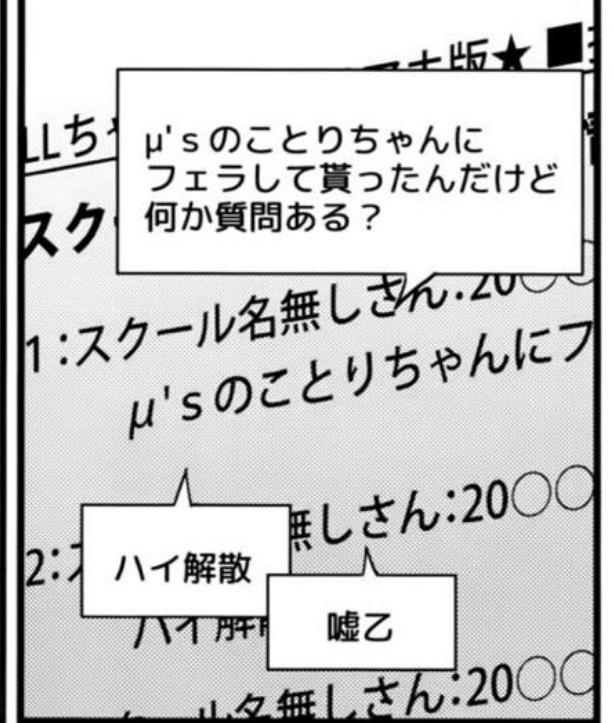
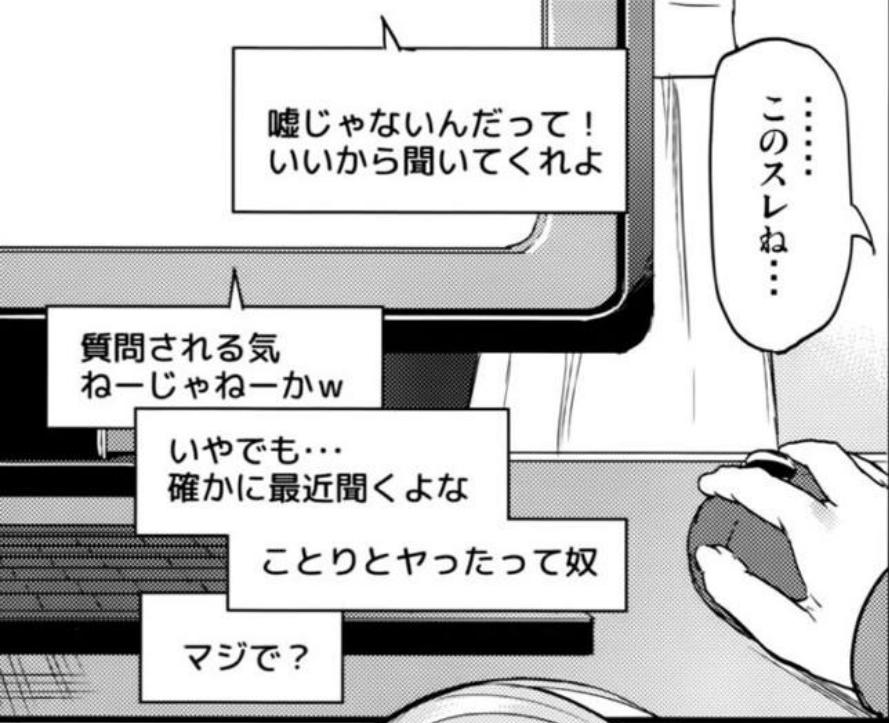
しかし、あるファンがことりに要求したことは些か不自然なことであつた。何の意味もないような壁の前に連れに行き、壁を向かいにして、駄弁の体位で挿入したのだ。僅かに沸いた疑問も、アソコが満たされたことりにとつては、問題でもなく、すぐに快感に身を任せ、喘ぎ、感じていた。部屋中に、妙な異音が鳴り響いていることも気付かずに…。大きな音と共に、目の前の壁であつたはすのものはなくなり、開けた部屋につながつた。そして、ことりの目の前には、男のチンコでよがる母の姿、と、ことりを脅した元凶である男の姿があつた。

「お母さんは、もうこんなことしないと約束してくれていたハズなのに、どうして…」快楽の底に墮ちきつた母のもとに、ことりのおかけだと、感謝までするのであつた。

親子の血は譲れないのだと、セックスの虜になつてゐる私は、しようがないことなんだ、と、ありのままを受け入れ、快楽に墮ちることりに、男は母と同じ薬を打ち込む。電撃が走るかのような快楽に身を捩じらせ、親鳥と子鳥の鳴き声が、部屋中に響き渡り続けるのであつた…。

そんな中、海未はことり母との協力の末、母が男に脅されている現場を証拠として撮影しラブライブの運営会社の取締役員室にまで交渉に來ていた。予想外に事は運び、ことりとあの男をあわざない約束を取り付け、安堵の気持ちで帰路につくことになつたのだが…。

翌日から、ことりは学校に来なくなつてしまふのだった…。









今まで
黙ってたんだけどさ…
実は俺もあるんだよね

おいおいおい！
マジかよ！

——それでさ！
本当においしそうに
飲んでくれたんだよ！

もう夢みたい
だったよ…

ことりちゃんの生歌を
間近で聞けて
ホント…
脳トロ状態だったよ…

つい1週間前…
俺もアキバにいたとき
なんだけど――

で…1時間たった
くらいかな

喉渴いてドリンク
頼もうと思ったわけ

そしたらさ…

そりゃもう
即OKしたさ

俺ファンだったから
即効気付いたよ！

歌の練習したいけど
1人カラオケの
勇気がないから
一緒に行ってくれ
ないか…
ていうのね

震えてるけど
大丈夫?
どうしたの?

え?

ゲル
ゲル
ゲル

ことりちゃんも
ドリンク注文
するよね！

ごめんね！

あ…あの…
ちょっと待って
もらつていいですか…?

ち…
違うんです…

ことり…
もう準備
出来てて…

いえ…
その…



今日のことりは...
フルーツパーラーの
店員さんで...



ことり 果汁 100% :

生搾り
ことりジュースは
いかがですか…?









私も
あは
んれの
ねな場
い所に
うんに
だは

こ……ことりちゃん！？

はい…

はあ…

どうしました！？

大丈夫ですか？









僕が…!!

正しく駆けて
あげるからね!!

ほら
地面
に！

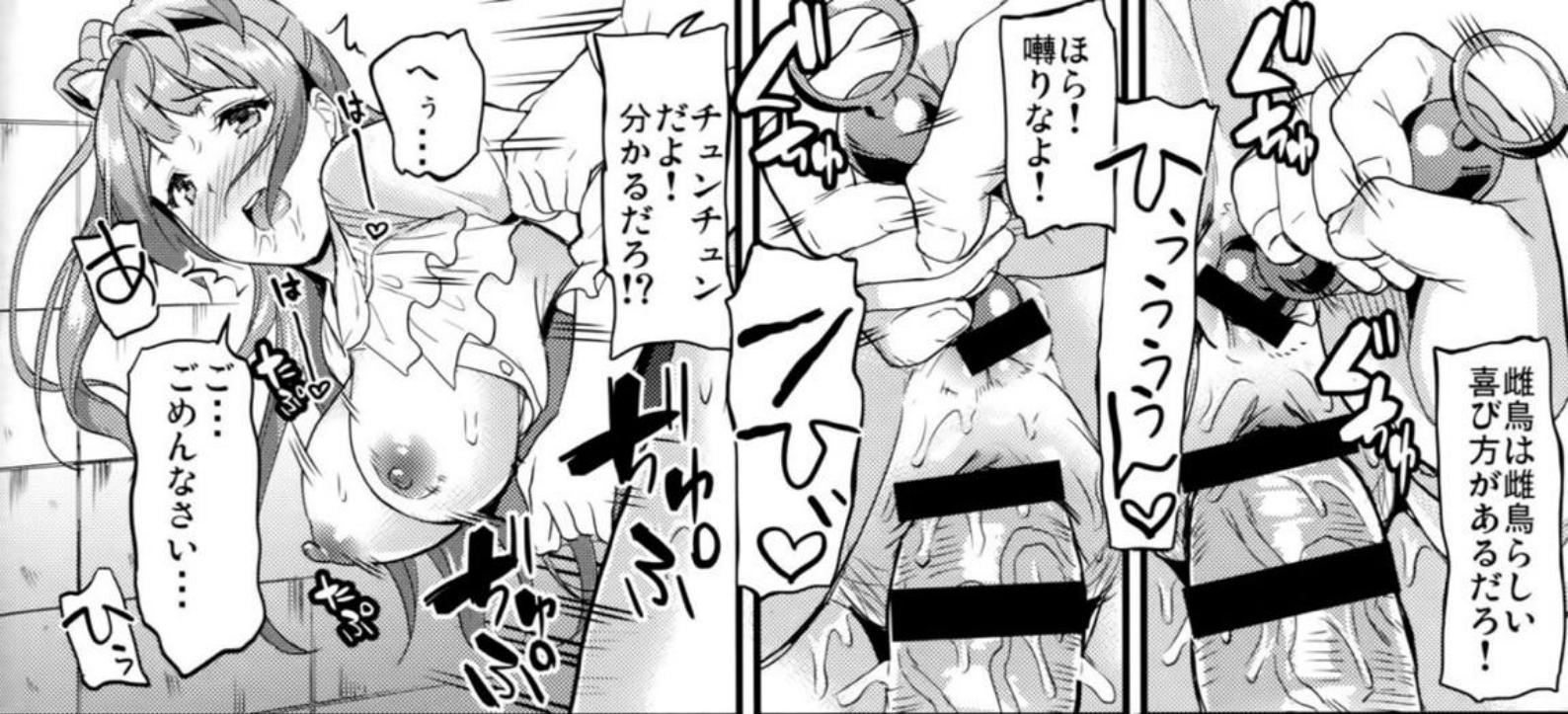
ねだるんだ！

違うだろ!!

ことりの…
腔内に

あ…あなたの
おちんちん
ください…



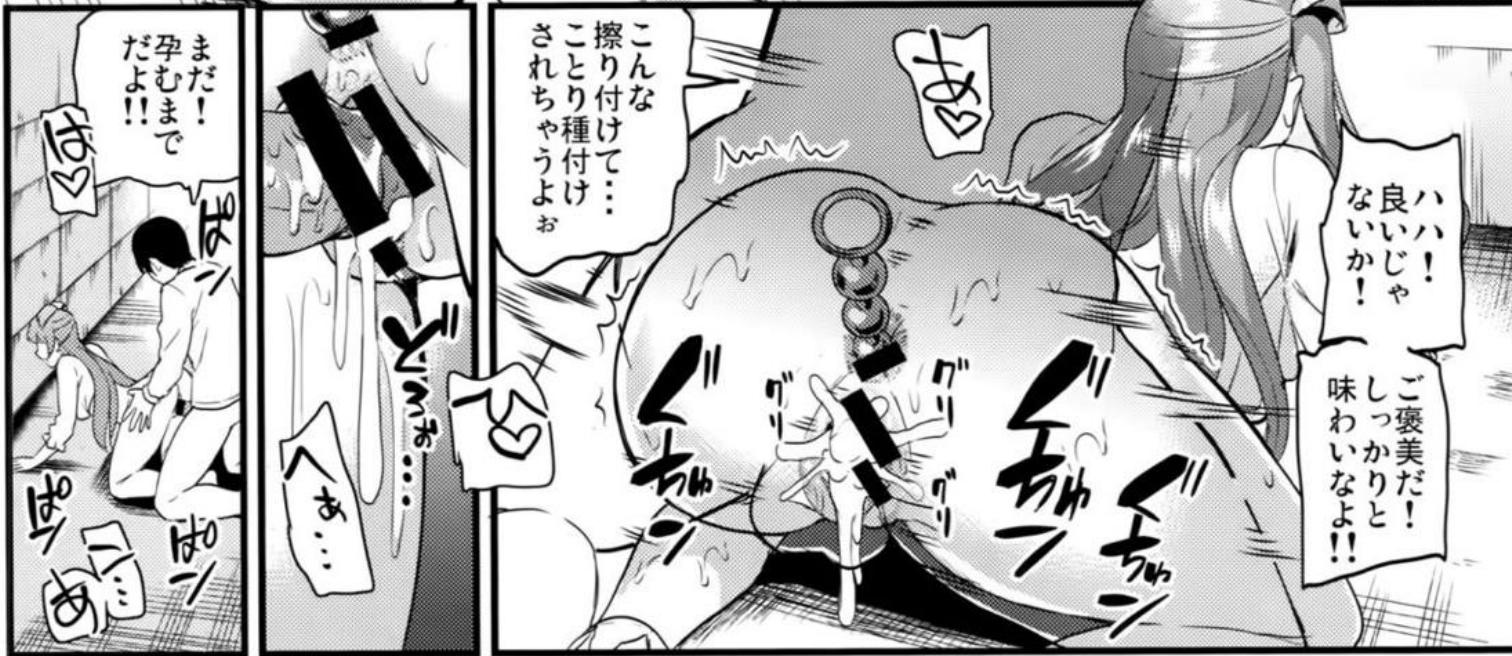


ほら!
囃りなよ!



雌鳥は雌鳥らしい
喜び方があるだろ!











おひ…っ

擦りつけられて
俺の絞りつくして
やるから！

お口が
お留守だよ！

こんな
誰のちんこでも
受け入れて

ホント
こひとりちゃんつて
だつたのビツチ
んだな！

マジ
たまんねえ！！

孕めよ!!

はい

ありがとう
ごぶあいまふ

はひ

ひ

はひ

は

ひ

は

ひ

は

ひ

は

ひ

は

ひ

は

ひ

は

ひ

は

ひ

は

ひ

は

ひ

は

ひ

は

ひ

は

ひ

さつきから
ことりちゃん
いきっぱなし
じやね?

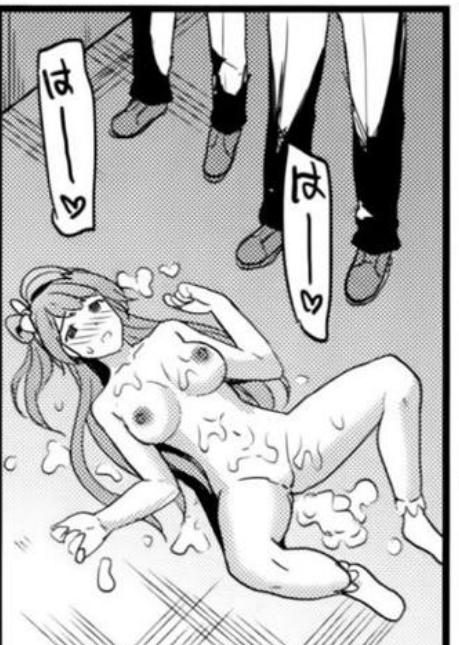
これ意識完全に
飛んじゃつてんなあ

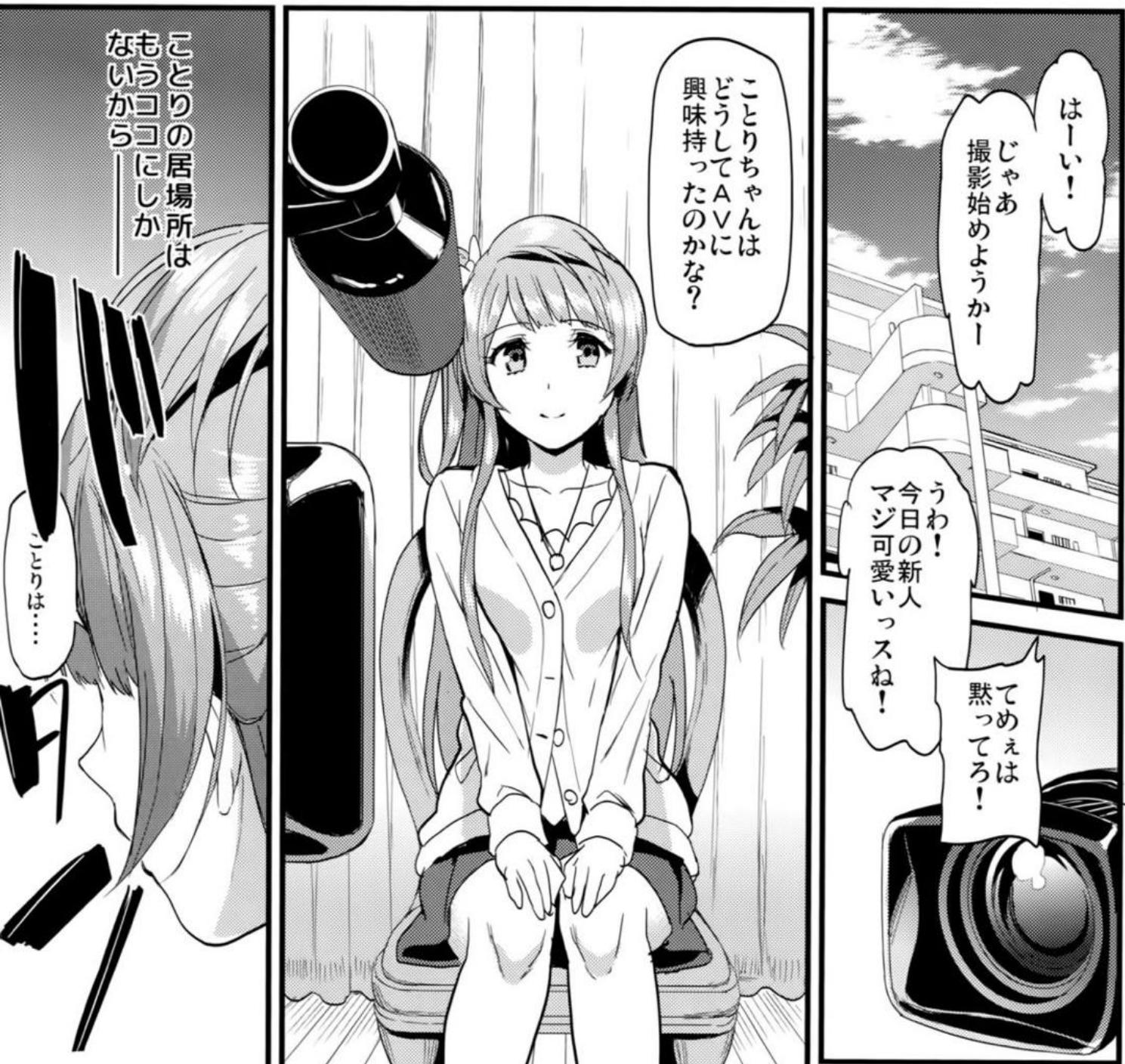
まあいいだろ
使おうぜ

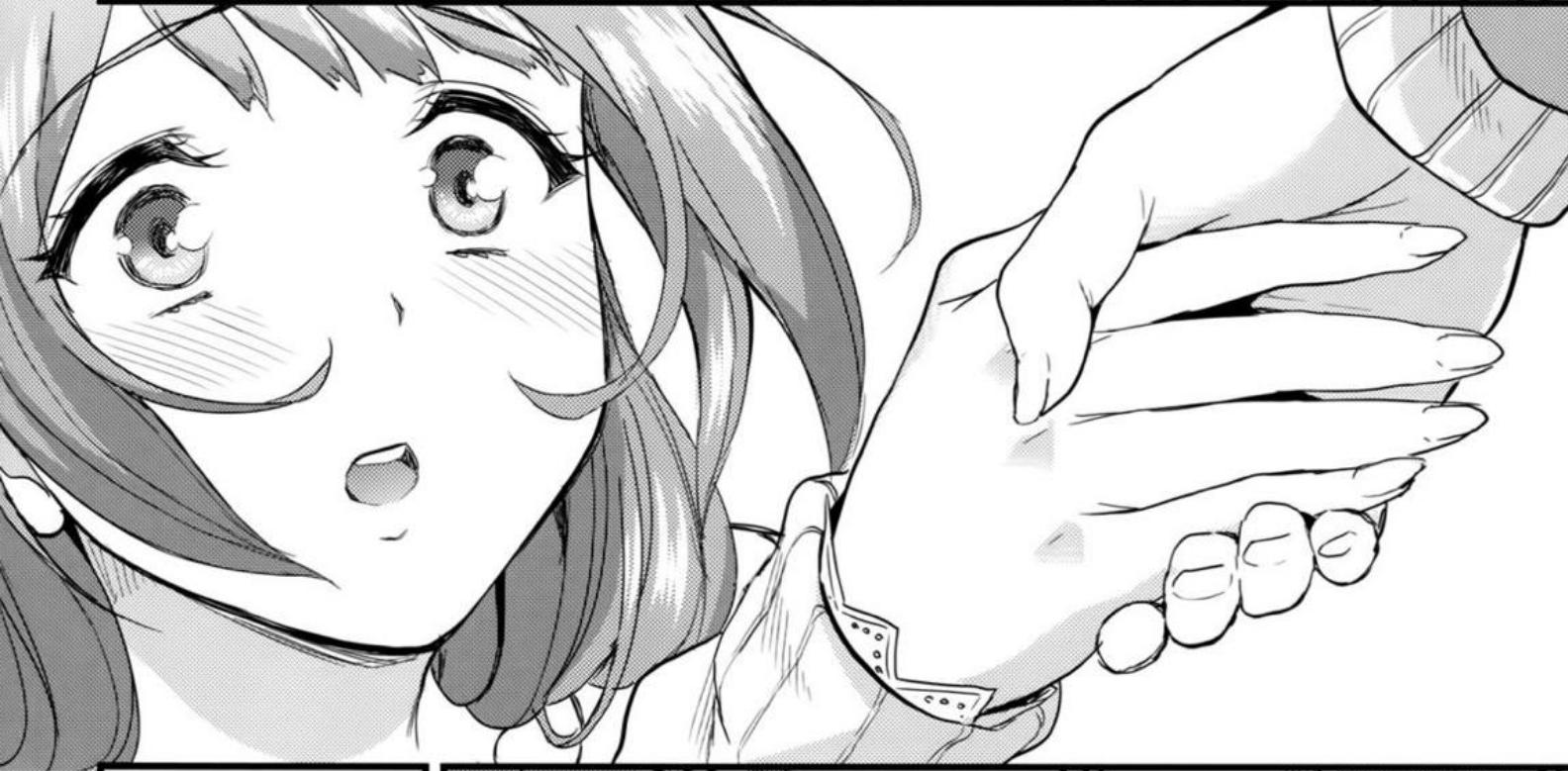
だな!

ふい…っ









「
キ
キ
キ



あとがき

はじめまして、またはお久しぶりです。キチロクです。
ここまでお読み頂き、ありがとうございました！

今回で5冊続いた「コトリの」シリーズは完結となります。

ラブライブでエロを書くうえで、男をどうするかが凄く
ネックで、設定改变やオリジナル設定なところもあり、
受け入れられるか不安な面もあるシリーズでしたが、
ありがたいことに、自分としては多くの方に読んで頂け、
無事終わらせることが出来、おかげで満足のいく形に出来ました！

しかし、折り合いの結果、最後が駆け足になってしまったので…そのうち、補完できるようなもの…他にもろもろ、このシリーズで描きたいものもあり、2期の穂乃果のように、やりきれたかというと、そうとも言い切れないのですが、一旦今回で締めておきます。

長々、お付き合い下さった皆様には頭が上がりません。
本当にありがとうございました！

そして、散々酷い目にあわせたことりちゃん。海未ちゃん。ことりママ。μ'sメンバー。

本当に本当にごめんなさい。

そして、こんな本を描かせてくれて、一方的な感謝を。
(感謝されたくないだろうけど!!)

もちろんと言いますか…！

まだまだ熱は冷めておらず…！

むしろ劇場版で熱くなり、いろいろ滾っているので…！

まだまだ、ことりちゃんは描きたりないので…！

なので、冬コミ以降も、ことりちゃん本は描き続けていくと思います。

そろそろ、謝らなくていいようなエッチいのも、たくさん描きたいですね！

最後に、今回もヘルプに入ってくれた鳳まひろ先生に圧倒的な感謝を！

それでは、またお会いできることを祈りつつ…！

2015.8月某日 キチロク

奥付

誌名

発行

発行人

発行日

印刷

H P

mail

コトリのユクエ

第6基地

キチロク

2015/08/16

ねこのしっぽ

<http://kichirock666.seesaa.net/>

yoshinoya-nami@hotmail.co.jp

■ 無断転載、ネットアップロード、

18歳未満の閲覧を禁止します。





presented by No6.base
2015 summer